

「人間ドック受診者における口腔内・腸内微生物叢を用いた生活習慣病の新規バイオマーカーの探索」研究にご参加いただいた方へ

当機関は以下の研究に、当院で実施している「人間ドック受診者における口腔内・腸内微生物叢を用いた生活習慣病の新規バイオマーカーの探索」で取得した試料および情報を提供いたします。試料・情報提供についてお問い合わせがある場合、または試料および情報を利用することをご了解いただけない場合には、以下の「お問い合わせ先」へご連絡下さい。不参加を希望される方には、解析対象から情報を削除いたします。研究への不参加が、今後の診療等に影響を及ぼすことはございません。

1. 研究課題

「バクテリオシンの腸内細菌叢への影響」（承認番号：1126、研究期間
2022年9月16日～2027年3月31日、東京歯科大学）

この研究は、東京歯科大学倫理委員会、杏林大学倫理委員会の審査による承認を得て実施します。

2. 研究実施部門：東京歯科大学微生物学講座

3. 研究責任者：米澤英雄（東京歯科大学微生物学講座講師）

4. 研究目的と方法：ヒト腸内細菌叢は宿主の健康維持促進に関与していること、そして腸内細菌叢が何らかの理由によりその細菌構成に異常をきたすと全身的な疾患を引き起こすことが明らかとされています。本研究は腸内細菌叢の異常を起こす原因の1つとして、口腔内細菌が産生する抗菌物質に焦点を当て、口腔内に抗菌物質産生細菌を保菌することが腸内の異常の原因となることを証明するものです。本研究では、唾液、便を検体として研究を行います。採取した唾液および便から細菌DNAを抽出し、唾液由来の細菌DNAからは抗菌物質産生細菌の存在をDNAレベルで検査いたします。

本研究で使用する検体は唾液および便となりますが、これまでに「人間ドック受診者における口腔内・腸内微生物叢を用いた生活習慣病の新規バイオマーカーの探索」で採取した唾液・便を利用させていただくもので、新たに検体を

採取することはありません。

5. 個人情報の取扱い（プライバシーの保護）：利用する検体からは、お名前、住所などあなた個人を特定できる情報は削除します。個人情報と匿名化した情報や試料を結びつける対応表は分担医師が当院のみで厳重に管理し、研究実施部門ではどなたのものか一切分からない形で使用いたします。可能でしたら唾液より抗菌物質を産生する細菌を分離します。分離した細菌は、匿名化した番号のみを付与し、継続研究および細菌学的研究における貴重な資源として保管させていただきます。試料保管に関して希望されない場合にも、以下の問い合わせ先にご連絡下さい。その場合は、分離した細菌を含む一切の材料を破棄いたします。

6. 研究期間：杏林大学倫理委員会承認後～2027年3月31日

問い合わせ先

研究代表者：東京歯科大学微生物学講座 米澤 英雄

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-1-14

TEL 03-6380-9578

研究責任者：杏林大学医学部予防医学 三好 佐和子

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

TEL 0422-47-5511（代表）

研究分担者：杏林大学医学部 予防医学 徳永 健吾

研究分担者：杏林大学医学部 予防医学 大崎 敬子

第1版（2023年1月17日作成）

第1.1版（2023年9月15日作成）

第1.2版（2025年4月30日作成）